

たかつき

地域力

GOUGAI③

《発行》

高月地域づくり協議会
広報研修委員会
責任者 山仲

高月地域のようにす
(平成23年10月1日現在)

人口	
男	5,096人
女	5,182人
合計	10,278人
世帯数	
	3,269世帯

高月中学校跡地利用 地元住民検討協議始まる

高月中学校を移転改築する整備事業が、平成二十五年春の新校舎開校をめざして年末から開始される予定だ。移転後、現校舎・体育館等は全て取り壊され、現学校用地は更地になることから、跡地がどのように利用されるかが望ましいかを考える、地元住民による検討協議が始まった。

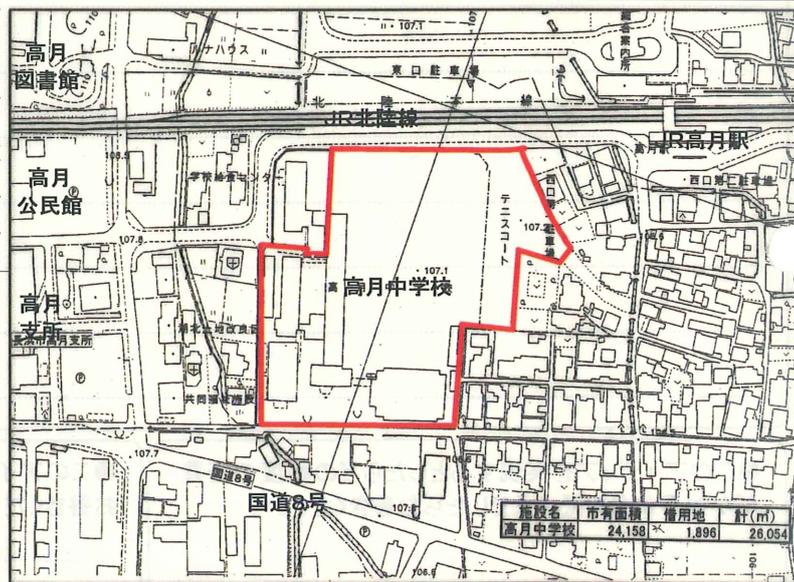
市では、校舎の老朽と耐震確保のため市立高月中学校を移転改築する高月中学校整備事業がすすめられている。近日、請負業者を決める工事入札会が行われる予定だ。今月末から開催される市議会定例会で業者

との請負契約が承認されればいよいよ校舎等の建築工事が始まることとなる。十五年三月に校舎体育館等建物の完成をめざして進められ、同年四月の新学期から新校舎での学校活動を開始する。

計画だ。一方、現在の敷地内の建物(校舎・体育館等は移転後引き続き全て解体される予定で、現学校用地は平成二十五年秋頃には更地となり、広大な市有地として管理されることになる。土地(一部借地を

含む)は約二万六千㎡(約七千八八〇坪)の広さで、高月駅に近く、周辺には高月支所や公民館、図書館など公共施設もあり高月地域の中心地に位置している。JRや国道との

セスも良く、好立地条件のこの土地を今後どうのように活かしていくかが、高月地域のみならず市北部地域の振興に大きな影響を及ぼすことになりそうだ。



地元に検討委員会を立ち上げ

もうすぐ合併するが、広大な市域となることでの行政施策が行き届きにくくなり、市政も人も市の中心部に集り、遠隔地の過疎や高齢化がさらに進み、周辺地域が寂れるのではないかと合併前から懸念があった。高月地域には多くの企業が立地し、商業施設も集積している。加えて農業も盛んで住・工・農・商がコンパクトにまとまる市北部の拠点としての機能を今のところ維持している。しかし、このまま手こまねいては高月地域もまた寂れかねない。そこで、立地条件のよい中学校跡地を活用し、地域振興につながる方策を考えた。市へ提言することが必要として地元住民による中学校跡地利用検討委員会委員長中川定次・NPO花と観音の里代表理事がつくられ活用策を協議することになった。

地域の未来を元気にする 跡地利用の「提案」を募集

中学校跡地利用検討委員会は、地元高月自治会長をはじめ各学区連合自治会長、町内各種団体の代表者等二十五名による委員で構成され、今年度中に数回の会議を開き、委員等からの提案を審議して、地元として跡地活用案をまとめ市長へ提言したいと考えている。

市当局も跡地の利活は、地域に大きな影響を与える問題であることから、地元の意向を十分聞き取り、可能なものは市の跡地利用計画として取り入れたいと検討しており、今回の検討委員会立ち上げにちながった。

委員会では、今後の審議にいかすため多くの人がかすため多くの提案を募集することになった。

中学校跡地活用が高月地域の課題を解消し、地域の発展につなげるような素晴らしがある。提案が期待される。

地域を愛し、まちづくりや地域振興に関心のある方は、下記の記事の提案書に夢を画したい。是非提案をお願いします。

提案書

提案者 氏名		年齢
住所		

住所・氏名は必ずお書き下さい、匿名による提案は認められません。

●あなたのアイデアを端的に言い表わしてください。 ○○○○○○○○○○○○する。

●上記のアイデアの内容を、具体的に分かりやすく説明してください。イラストなど図を使っていただいてもかまいません。

●このアイデアを実現するとしたらどの程度の経費がかかるか分かるようでしたらお書きください。

●このアイデアの実現にあたって、何か課題や問題点があればお書きください。

11月18日(金)までに、高月支所地域振興課もしくは高月公民館まで提出してください。

お寄せいただいた提案は検討委員会での審議材料にしますが、提案そのものが「市長への提言」になるものとは限りません。予めご了解のうえご提出ください。

高月中学校跡地利用検討委員会